



# 龍野ロータリークラブ週報

よいことのために手を取り合おう

2025-26 年度国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツツォ

	2025-26 年度 会 長 伊藤充弘 幹 事 神名大典 公共イメージ・広報委員長 段 克史	例 会：毎週木曜日 12:30～13:30 龍野経済交流センター1 階 事務局：〒679-4167 たつの市龍野町富永 702-1 龍野商工会議所内 TEL 0791-63-4141 FAX 0791-63-4360 E-mail tatsunorc1@gmail.com
--	---	---

No.7 (3209 号) 2025 年 (令和 7 年) 8 月 28 日 (木) 晴

例会記録

点 鐘 それでこそロータリー  
 来 客 西播第 2 グループガバナー補佐 箸蔵法岳様 (上郡佐用 RC)  
 来訪会員 なし

## 出席報告

会員数	出席	出席免除	欠席	出席率	前々回欠席	メイクアップ	修正出席率
21	16	2	5	84.21%	3	2	94.73%

## 会長の時間 ●伊藤会長

今回も歴史をたどりまして、1920 年代に中国の大連に設立された大連ロータリークラブの「大連宣言」についてお話させていただきます。

大連宣言というのは、大連クラブの古沢丈作氏の草案で、大連クラブではこれをクラブの「ロータリー宣言」として使っていたようです。ロータリーの行動規範の原点は 1915 年のサンフランシスコ国際大会で発表された「ロータリーの倫理訓」と紹介しましたが、それを受けての大連宣言が作られたようです。

### 「大連宣言」

第 1 須らく事業の人たるに先立ちて道義の人たるべし。蓋し事業の経営に全力を傾倒するは因って世を益せんがためなり。ゆえに吾人は道義を無視していわゆる事業の成功を獲んとする者に与せず。

第 2 成否を曰うに先立ち退いて義務を尽さむことを思い進んで奉仕を完うせんことを念う。自らを利するに先立ちて他を益せむことを願う。最も能く奉仕する者は、最も多く満たされるべきことを吾人は疑わず。

第 3 あるいは特殊の関係をもって機会を壟断しあるいは世人の潔しとせざるに乗じて巨利を

博す、これ吾人の最も忌むところなり、吾人の精神に反してその信条をみだるは利のため義を失うよりははなはだしきは無し。

第 4 義をもって集まり、信をもって結び、切磋し琢磨し相扶け相益す。これ吾人団結の本旨なり。しかれども党をもって厚くすることなく他をもって拒むことなく私をもって党する者にあらざるなり。

第 5 徒爾なる角逐と闘争とは世に行なわるべからず、協力をもって博愛平等の理想を実現せざるべからず、しかり吾が同志はこの大義を世界に敷かむがために活躍す吾がロータリーの崇高なる使命ここに在り、その存在の意義またここに在す。

### 要約

1. ロータリーの精神として、私たちはまず人としての道義を重んじます。事業の成功よりも、社会への貢献と正しい行いを第一とします。
2. 奉仕の心を持ち、自分の利益よりも他者を思いやる姿勢を大切にします。真に奉仕する者こそ、大きな満足と成果を得られると信じます。
3. 不正な利益や特権的な立場を利用すること



を強く戒め、公正で誠実な信条を守ります。

4. 仲間とは信頼と正義をもとに支え合い、特定の人だけを特別扱いするのではなく、広く公平に接することを旨とします。
5. 争いや対立を避け、協力によって博愛と平等の理想を実現することこそ、ロータリーの崇高な使命であり、私たちの存在意義です。

「大連宣言」は、次の3つの柱で構成されています。

1. 事業の人たる前に道義の人たれ：事業を行う前に、道徳的な人であるべきである。
2. 事業の成功は世を益するため：事業の成功

は、社会全体の利益になることを目的とすべきである。

3. 道義を無視した成功は追及しない：道徳を無視して、事業の成功のみを追求することは認しない。

あらためてと思いますが、昔の人はすごいですね。幼少のころから教育勸語を基に教育を受けると、高い倫理基準と高潔性を重視した職業観は当然のことになってくるのだと思います。その為、日本人とロータリーの親和性は大変高いものだと感じました。

## ガバナー補佐クラブアッセンブリー（公式訪問事前報告）

会長報告 ●伊藤会長



ロータリークラブは、奉仕の機会を提供し、社会に貢献する団体です。しかし、その価値や活動内容が地域社会に十分に伝わっていないと感じております。本年度は「ロータリーをもっと身近に」をテーマに掲げ、ロータリーの活動や魅力を広く発信し、より多くの人々に奉仕の機会を提供できるクラブを目指します。そして、これらの取り組みを通じて、昨年に引き続き会員増強活動を強力に進めていきます。

### 基本方針

- (1) ロータリーの価値を広める情報発信の強化  
クラブの活動や理念をより多くの方に知っていただくため、SNS やウェブサイトの活用を更に進めます。また、記者クラブや行政との連携を深め、新聞や広報誌等でロータリーの活動を伝えていきたいと考えています。積極的な情報発信により、新たな会員の関心を引き、クラブの活性化に繋がっていくよう活動してまいります。
- (2) 会員増強活動の更なる推進  
昨年に引き続き、会員増強活動を強力に進めます。新たな会員の獲得だけでなく、既存会員

の満足度向上にも注力し、持続的なクラブの発展を図ります。会員が誇りを持てるクラブづくりを進めることで、自然な形で会員が増える環境作りに注力します。

### (3) 会員相互の親睦と結束の強化

クラブの活性化には、会員同士の信頼関係が不可欠です。龍野クラブのモットー「親睦こそ我がクラブ」のもと、例会や親睦活動の充実を図り、世代や職業を超えた交流を促進することで、より強い結束を生み出していきたいと考えています。

### (4) 地域社会への貢献活動の推進

龍野クラブは、たつの市、宍粟市、太子町という瀬戸内海から中国山地までの広域をテリトリーとしています。地域に根差したクラブとして、地元の多様なニーズを的確に把握し、実効性のある奉仕活動を展開して行くことを目標といたします。できれば、ロータリーの重点活動でもあります次世代育成、環境保全、福祉支援などの分野に注力し、持続可能な取り組みを目指します。

以上のように本年度は、ロータリーの魅力や価値を広く伝え、より身近にロータリーを感じていただき、社会に貢献する機会を増やすことを目指します。ロータリーの活動を多くの人に知っていただき、新たな仲間とともにより良い地域社会を築いていきたいと考えております。その結果として、会員増強活動がより効果的になり、より多くの会員を迎え、クラブの発展につながっていくことを目指してまいります。



委員長報告

●一色クラブ奉仕委員長



1. 基本方針

クラブ奉仕委員会は、クラブ内の運営や会員間の親睦を促進し、クラブの活性化を図るための重要な役割を担っています。本年度の龍野クラブは、会員数 20 名での船出となります。片岡会員増強委員長の大活躍もありまして、幸いにも、女性会員 1 名、男性会員 1 名の入会がありました。なかなか厳しい状況が続いております。何かの奉仕事業やクラブを運営する上でも、20 名を切ると難しいと言われておりますが、そのギリギリラインです。

伊藤年度の目標会員数 30 人となっておりますが、伊藤会長の基本方針に沿って、各委員会の委

員長との意見調整を図り、各委員会の活動計画の支援を行い、親睦と活性化に努めてまいります。

2. 活動内容

- (1) 伊藤会長が重視する既存会員の満足度向上、会員が誇りを持てるクラブづくりを進めて、まずはクラブの充実を図っていききたいと思います。
- (2) 今年度は女性会員 1 名、男性会員 1 名の新会員がいらっしゃいますのと、片岡委員長が会員増強活動を強力に進められることが期待されますので、新しい会員の方に積極的にお声掛けを行い、ロータリー活動に慣れて頂けるよう、例会出席は元より、各行事への参加を促して行きたいと思います。
- (3) クラブの充実と活性化を図り、伊藤会長が望む自然な形での会員増強に繋がるよう努めたいと思います。

●中村職業奉仕委員長



1. 基本方針

ロータリーの目的は、「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」という理念を学び、理解し、実践することにより、ロータリーの本義である「人づくり」・「自分磨き」に、役立てたいと思います。

2. 活動内容

- (1) 職場例会(移動例会)を、2025 年 10 月 23 日に実施します。職業奉仕を実践されている企業を訪問し経営者の事業観・経営理念についてお話をお聞きして、職業奉仕の実践を学びます。
- (2) 職業奉仕委員会アワーを、2026 年 1 月 22 日に開催し、会員各自が、職業奉仕について考えていただきます。
- (3) 毎月第二例会において、「四つのテスト」を唱和し、職業奉仕についての理解を深めます。
- (4) 地区・職業奉仕セミナーに参加します。

●富田社会奉仕委員長



当年度の社会奉仕委員会は、田中副委員長と本條副委員長と共に、社会奉仕と国際奉仕並びに青少年奉仕を一体運営します。

**I. 社会奉仕**

**1. 基本方針**

ロータリーの社会奉仕の理念に沿い、ロータリアンに係るすべての社会生活に奉仕の理想を適用することを目的に、地域社会のニーズが何かを研究し、公共イメージを意識しながらこれに即した社会奉仕活動の推進、奨励、支援に努めます。

**2. 活動内容**

- (1) 9月4日に社会奉仕委員会アワーを開催します。堀保彦保護司会会長を招聘し、ご講話を頂き、ロータリーの目的に沿って社会奉仕について会員と共に考えます。
- (2) 10月26日に障害者支援施設(しろう自立の家)でサロンコンサートを開催します。

地区の奉仕プロジェクト特別支援金を活用して、4回目の継続事業を開催することで、公共イメージと DEI 理念普及に配慮しながら共生社会の推進を目指します。

- (3) 下期に次年度社会奉仕委員長と連携して、次年度地区補助金事業の策定を検討します。

**II. 国際奉仕**

**1. 基本方針**

「平和、希望、輝き、DEI（多様性、公平さ、インクルージョン）」を根底とした世界情勢理解に努めます。

**2. 活動内容**

- (1) 平和構築と紛争予防月間に国際奉仕委員会アワーを実施します。（2月12日）
- (2) 地区国際奉仕セミナーに参加します。
- (3) 12月14日に、たつの市国際交流協会開催の『たつの市国際交流フェスティバル』に参加して、地域在住の外国人との交流を通じて相互理解に努めます。

**III. 青少年奉仕**

**1. 基本方針**

次世代を担う青少年の健全育成に努めます。

**2. 活動内容**

青少年奉仕月間における青少年奉仕委員会アワーにおいて講話を行います。（5月21日）

ガバナー補佐所感 ●西播第2グループガバナー補佐 箸蔵法岳様



○会長報告

「ロータリーをもっと身近に」というテーマを掲げられ、「より多くの人々に奉仕の機会を提供出来るクラブ」を目指されてという事で、大変期待を持って見守らせて頂きたいと思います。既存会員の満足度向上にも着目されております

が、大切な視点だと考えます。「親睦こそ我がクラブ」というモットーを生かして頂き、更なる結束を固めて下さい。次世代育成、環境保全、福祉支援に取り組んで頂き、持続可能な取り組みに期待しております。

○概況報告

年代別年齢 30 歳代がいっぱいにならないのが気になる所です。3クラブ（相生RC以外）に共通の点ですが。定例理事会については、しっかり記録を残され、理事会メンバー以外の方にも、共通認識が得られ易いと思います。特記すべき例会として、観月例会、移動例会、クリスマス家族例会等が挙げられておりますが、会員相互、会員家族との親睦が図られている様子が伺えます。



○クラブ奉仕

伊藤会長と共に「既存会員の満足度向上、会員が誇りを持てるクラブづくり」を進めて下さい。

○職業奉仕委員会

「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」という理念の理解、実践により「人づくり」「自分磨き」を推進して下さい。

○社会奉仕委員会

「地域社会のニーズが何かを研究し、公共イメージを意識しながら」という事で、しそう自立

の家でサロンコンサート（4 度目）を実施されるのは、大変意義深いと思います。国際奉仕については、「平和、希望、輝き、DEI」を根底としてという事で、去年は「たつの市国際交流フェスティバル」に参加されたのは貴重な機会だと考えます。

○財団委員会

財団の年次寄付目標 160 米ドル／1 名あたり、米山寄付目標 17, 000 円／1 名あたりを掲げて頂いております。宜しくお願いします。